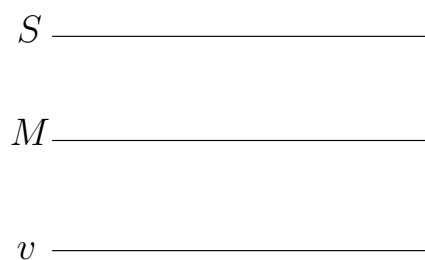
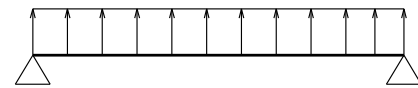
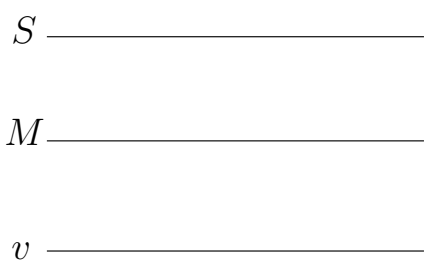
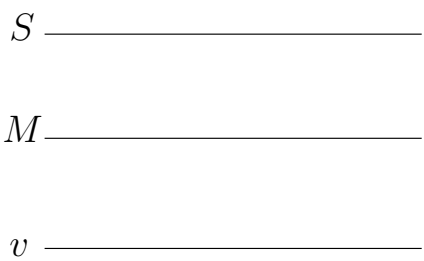
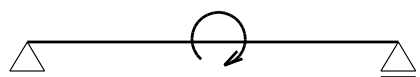
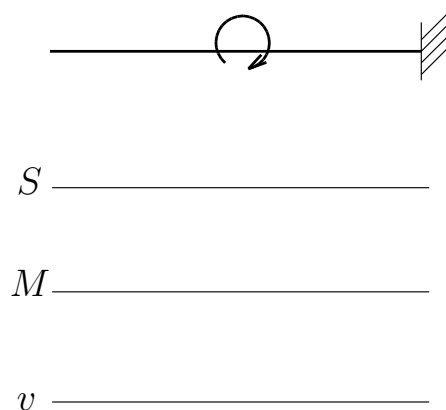
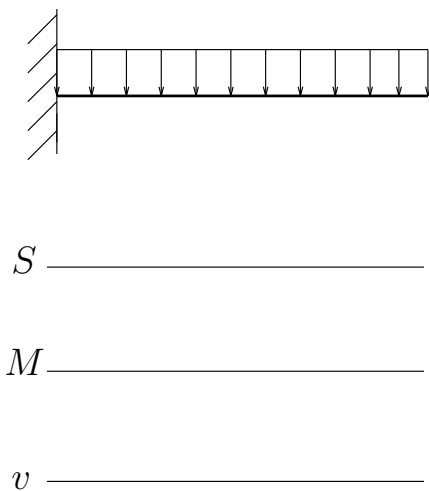
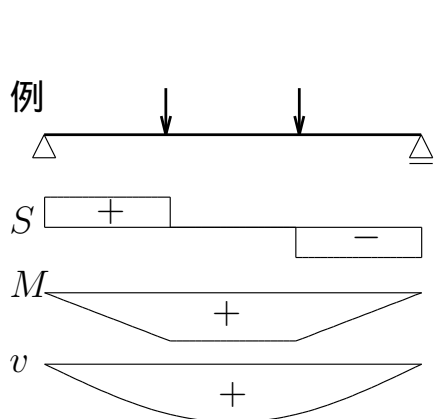


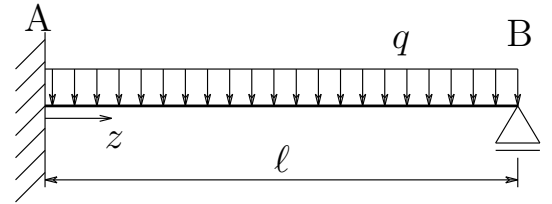
問 1: 例にならって,せん断力図 ( $S$ ), 曲げモーメント図 ( $M$ ), たわみ図 ( $v$ ) の概形を描け。  
 せん断力図は軸線の上が +, 曲げモーメント図とたわみ図は軸線の下が + とする。



構造力学 II 定期試験 1 枚目裏

試験が始まるまでひっくり返さないでください

問 2: 図のように左端固定、右端ローラー支承で等分布荷重  $q$  を受ける不静定梁について、左端を原点として、梁軸に沿って右向き正に座標  $z$  を取る。この梁の曲げモーメントは、以下のように求まる。



$$M(z) = \frac{q}{8}(-4z^2 + 5lz - l^2)$$

このとき、反力  $V_A$ (上向き正),  $V_B$ (上向き正),  $M_A$ (時計回り正) とたわみ  $v(z)$ (下向き正) を求めよ。なお、梁の曲げ剛性は  $EI$  とする。

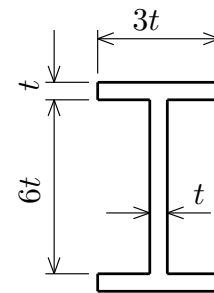
$$V_A = \underline{\hspace{10em}} \quad (\text{上向き正})$$

$$V_B = \underline{\hspace{10em}} \quad (\text{上向き正})$$

$$M_A = \underline{\hspace{10em}} \quad (\text{時計回り正})$$

$$v(z) = \underline{\hspace{10em}} \quad (\text{下向き正})$$

また、梁の断面が図のような I 型断面をしているとき、この I 型断面の図心を通る水平軸回りの断面 2 次モーメント  $I_x$  を求め、固定端部 A の断面に作用する最大の引張応力  $\sigma_t^A$  を求めよ。



$$I_x = \underline{\hspace{10em}}$$

$$\sigma_t^A = \underline{\hspace{10em}}$$

構造力学 II 定期試験 2 枚目裏

試験が始まるまでひっくり返さないでください